

世界各地で異常高温が頻発 ～2016年（平成28年）の世界の天候（速報）～

○世界の広い範囲で異常高温が頻発

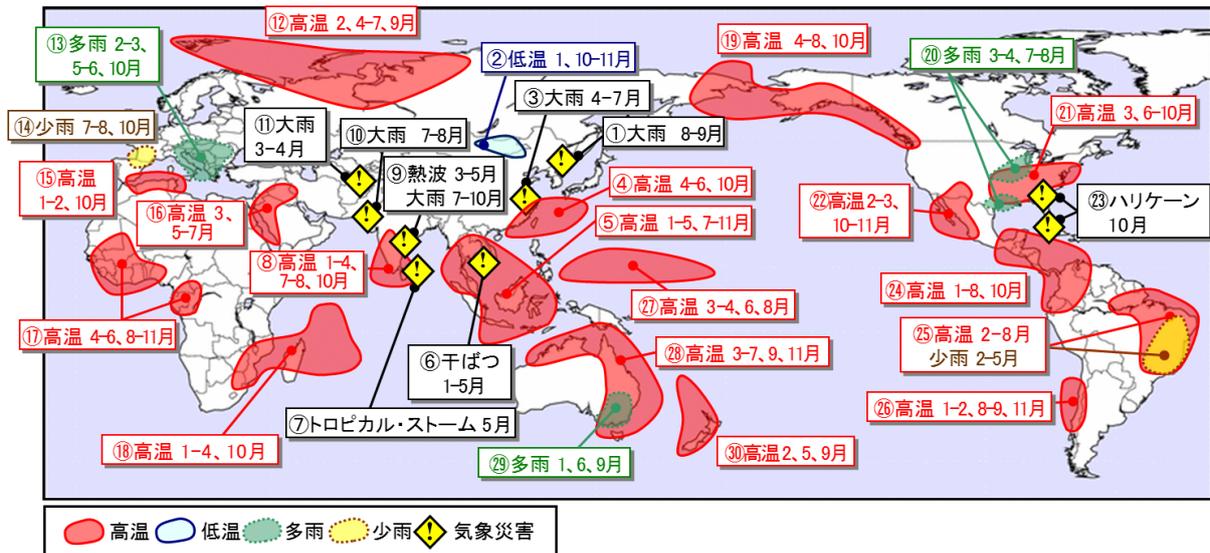
特に低緯度域では、年間を通じて異常高温が持続した。要因として、2016年春まで続いたエルニーニョ現象や、温室効果ガスの増加に伴う長期的な地球温暖化の影響があると考えられる。

○干ばつ、熱波、大雨や洪水、ハリケーンによる大きな気象災害

東南アジアでは干ばつ（1～5月）、インドでは熱波（3～5月）、中国南東部・南部では大雨や洪水（4～7月）、ハイチではハリケーン（10月）によって、大きな被害が発生した。

本資料は、世界各国からの1～11月までの観測データ及び12月16日までに入手した災害情報をもとに、速報としてまとめたものです。12月までの観測データによる資料は、平成29年1月16日に気象庁の世界の異常気象のホームページ(※)で発表します。

2016年（平成28年）に発生した主な異常気象・気象災害は以下のとおり。



世界の主な異常気象・気象災害（2016年（平成28年）速報）

比較的大きな規模の「異常気象」及び気象が原因となって生じた大きな災害（気象災害）のおおよその地域・時期を示した。図中の番号は概況文の番号と対応している。

- ◇ 異常気象：ある場所において30年に1回以下の稀な頻度で発生する現象をいう。本資料では月平均気温や月降水量から異常と判断した現象が1年のうち3か月以上繰り返された場合に、地理的広がりも考慮しつつ取り上げている。
- ◇ 災害情報：米国国際開発庁海外災害援助局とルーベンカトリック大学災害疫学研究所（ベルギー）の災害データベース（EM-DAT）や各国の政府機関・国連の発表等に基づき、人的被害や経済的損失の大きさ、地理的広がりを考慮して取り上げている。

※ http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme_world/index.html

概況

① 北朝鮮北東部の大雨（8～9月）

北朝鮮北東部では、8月末から9月初めにかけて、台風第10号から変わった低気圧の影響を受け、大雨及び洪水により130人以上が亡くなったと伝えられた（国連人道問題調整事務所）。

② モンゴル東部及びその周辺の低温（1、10～11月）

モンゴル東部及びその周辺では、1月、10月から11月にかけて異常低温となった。モンゴル東部のバルーンウルトでは1月の月平均気温が -26.7°C （平年差 -5.8°C ）、中央シベリア南部のキィラでは10～11月の2か月平均気温が -11.3°C （平年差 -6.1°C ）だった。

③ 中国の大雨（4～7月）

中国では、4月から7月にかけて南東部から南部を中心にたびたび大雨に見舞われ、長江流域の大雨、台風第1号による大雨、チアンスー（江蘇）省での竜巻の影響により、合計で490人以上が死亡したと伝えられた。また、北部では7月の大雨により160人以上が死亡したと伝えられた（中国政府）。

中国のコワントン（広東）省コワンチョウ（広州）では4～6月の3か月降水量が1074mm（平年比135%）、フーペイ（湖北）省ウーハン（武漢）では6～7月の2か月降水量が1036mm（平年比225%）、ペキン（北京）では7月の月降水量が361mm（平年比225%）だった。

④ 九州南部から中国南東部の高温（4～6、10月）

九州南部から中国南東部では、4月から6月、10月に異常高温となった。沖縄県の石垣島では4～6月の3か月平均気温が 27.4°C （平年差 $+1.8^{\circ}\text{C}$ ）、沖縄県的那覇では10月の月平均気温が 27.7°C （平年差 $+2.5^{\circ}\text{C}$ ）だった。

沖縄県の石垣島では、5月、6月、10月の月平均気温の高い方から1位の値を更新し、沖縄・奄美の月平均気温は、10月としては統計を開始した1946年以降で最も高かった。

⑤ 東南アジアの高温（1～5、7～11月）

東南アジア各地では、1月から5月、7月から11月にかけて異常高温となった。マレーシアのミリ（カリマンタン島）では1～5月の5か月平均気温が 28.2°C （平年差 $+1.2^{\circ}\text{C}$ ）、タイ北西部のチェンマイでは3～5月の3か月平均気温が 31.0°C （平年差 $+2.6^{\circ}\text{C}$ ）、インドネシアのスマラン（ジャワ島）では7～8月の2か月平均気温が 28.8°C （平年差 $+1.1^{\circ}\text{C}$ ）、ラオスのビエンチャンでは9～11月の3か月平均気温が 27.7°C （平年差 $+1.1^{\circ}\text{C}$ ）、マレーシアのクアラルンプールでは9～11月の3か月平均気温が 28.1°C （平年差 $+1.1^{\circ}\text{C}$ ）だった。

シンガポールの1月と4月の月平均気温は、それぞれの月として1929年以降でいずれも最も高かった（シンガポール気象局）。

⑥ 東南アジアの干ばつ（1～5月）

東南アジア各地では、昨年から続く少雨によって1月から5月にかけて干ばつとな

ったと伝えられた。ベトナムではここ 90 年間で最悪の干ばつ (国際連合食糧農業機関) となり、メコンデルタでは河川水位の低下による海水遡上によって塩害が広がり流域行政機関から非常事態が宣言された (駐ベトナム国連カントリーチームのレポート)。インドネシアやマレーシアでは森林火災の増加 (米国航空宇宙局) のほか、稲作に深刻な被害が発生したと伝えられた。

⑦ スリランカ、インド北東部、バングラデシュのトロピカル・ストーム (5 月)

トロピカル・ストーム「ROANU」の影響による大雨により、5 月中旬にスリランカで 100 人以上 (スリランカ政府)、インド北東部で 10 人以上 (インド政府)、バングラデシュで 20 人以上 (欧州委員会) が死亡したと伝えられた。

スリランカ西部のコロンボでは 5 月の月降水量が 752mm (平年比 243%) だった。

⑧ インド南部からスリランカの高温 (1~4、7~8、10 月)

インド南部からスリランカでは、1 月から 4 月、7 月から 8 月、10 月に異常高温となった。インド南部のコジコードでは 1~4 月の 4 か月平均気温が 31.4℃ (平年差+2.6℃)、インド南部のティルバナンプーラムでは 7~8 月の 2 か月平均気温が 27.9℃ (平年差+1.1℃)、スリランカ南西部のコロンボでは 10 月の月平均気温が 28.4℃ (平年差+1.1℃) だった。

⑨ インドの熱波 (3~5 月)・大雨 (7~10 月)

インドでは、3 月から 5 月にかけて熱波に見舞われ、東部から南東部で合計で 580 人以上が死亡したと伝えられた (インド政府、欧州委員会)。

また、7 月から 10 月のモンスーン期間中の大雨や洪水により、北部や中部を中心に 940 人以上が死亡したと伝えられた (インド政府、インド ビハール州政府)。インド北部のサガルでは 7~8 月の 2 か月降水量が 1270mm (平年比 200%)、インド中部のハイデラーバードでは 9~10 月の 2 か月降水量が 477mm (平年比 192%) だった。

⑩ パキスタンの大雨 (7~8 月)

パキスタンでは北部を中心に、7 月から 8 月にかけて、大雨により合計で 230 人以上が死亡したと伝えられた (パキスタン政府)。

⑪ パキスタン北部からアフガニスタンの大雨 (3~4 月)

パキスタン北部からアフガニスタンでは、3 月から 4 月にかけて、大雨により合計で 290 人以上が死亡したと伝えられた (パキスタン政府、欧州委員会)。

パキスタン北部のパラチナールでは 3~4 月の 2 か月降水量が 636mm (平年比 364%) だった。

⑫ 中央シベリア北部からスバルバル諸島の高温 (2、4~7、9 月)

中央シベリア北部からスバルバル諸島では、2 月、4 月から 7 月、9 月に異常高温となった。ノルウェー北部のスバルバル諸島では、2 月の月平均気温が -5.6℃ (平年差+8.0℃)、ロシア北西部のマールイェカルマクルイ (ノヴァヤゼムリヤ) では 4~7 月の 4 か月平均気温が 3.5℃ (平年差+4.9℃)、西シベリア北東部のディクソンでは 9 月の月平均気温が 7.2℃ (平年差+5.5℃) だった。

ロシアの月平均気温は、9 月としては 1891 年以降で最も高かった (ロシア水文気象局)。

⑬ ヨーロッパ南東部の多雨 (2~3、5~6、10月)

ヨーロッパ南東部では、2月から3月、5月から6月、10月に異常多雨となった。オーストリア南部のクラゲンフルトでは2月の月降水量が126mm(平年比407%)、イタリア中部のテルモリでは3月の月降水量が58mm(平年比236%)、オーストリア西部のザルツブルクでは5~6月の2か月間降水量が738mm(平年比269%)、ルーマニアのブカレストでは10月の月降水量が128mm(平年比259%)だった。

⑭ フランス南西部からスペイン北東部の少雨 (7~8、10月)

フランス南西部からスペイン北東部では、7月から8月、10月に異常少雨となった。フランス南西部のグールドンでは7~8月の2か月間降水量が13mm(平年比10%)、フランス南西部のボルドー・メリニャックでは10月の月降水量が12mm(平年比13%)だった。

フランスの7月から8月の2か月降水量は、1959年以降で最も少なかった(フランス気象局)。

⑮ アルジェリア北部及びその周辺の高温 (1~2、10月)

アルジェリア北部及びその周辺では、1月から2月、10月に異常高温となった。チュニジア北部のカイルアンでは1~2月の2か月平均気温が15.5℃(平年差+3.1℃)、アルジェリア北部のベジャイア空港では10月の月平均気温が22.3℃(平年差+2.4℃)だった。

⑯ サウジアラビア北東部から紅海南部沿岸の高温 (3、5~7月)

サウジアラビア北東部から紅海南部沿岸では、3月、5月から7月にかけて異常高温となった。サウジアラビア西部のメッカでは3月の月平均気温が31.5℃(平年差+4.1℃)、サウジアラビア北西部のワジュでは5~7月の3か月平均気温が30.8℃(平年差+2.4℃)だった。

⑰ 西アフリカ西部からコンゴ共和国の高温 (4~6、8~11月)

西アフリカ西部からコンゴ共和国では、4月から6月、8月から11月にかけて異常高温となった。マリ西部のキータでは4~6月の3か月平均気温が33.4℃(平年差+1.8℃)、コンゴ共和国北部のウェツソでは8~11月の4か月平均気温が25.4℃(平年差+0.9℃)だった。

⑱ セーシェルから南アフリカ北東部の高温 (1~4、10月)

セーシェルから南アフリカ北東部では、1月から4月、10月に異常高温となった。モーリシャスのロドリゲス島では1~4月の4か月平均気温が28.0℃(平年差+1.4℃)、モザンビークのマプートでは10月の月平均気温が24.2℃(平年差+1.5℃)だった。

⑲ 東シベリア東部からカナダ西部沿岸の高温 (4~8、10月)

東シベリア東部からカナダ西部沿岸では、4月から8月、10月に異常高温となった。米国のアラスカ州キングサモンでは4~8月の5か月平均気温が11.8℃(平年差+2.9℃)、東シベリア東部のアナディリでは10月の月平均気温が2.8℃(平年差+7.4℃)だった。

米国アラスカ州の4月から8月の5か月平均気温は、1925年以降で2番目に高かった(米国海洋大気庁)。

⑳ 米国中西部から南部の多雨 (3~4、7~8 月)

米国中西部から南部では、3月から4月、7月から8月にかけて異常多雨となった。米国のイリノイ州スプリングフィールドでは3月の月降水量が142mm(平年比225%)、テキサス州サンアントニオでは4月の月降水量が157mm(平年比295%)、ミズーリ州セントルイスでは7~8月の2か月降水量が360mm(平年比210%)だった。

米国本土¹の月降水量は、8月としては1895年以降で2番目に多かった(米国海洋大気庁)。

㉑ 米国東部から南部の高温 (3、6~10 月)

米国東部から南部では、3月、6月から10月にかけて異常高温となった。米国のバージニア州ワシントン・ナショナル空港では3月の月平均気温が12.0℃(平年差+3.8℃)、ミシシッピ州メリディアンでは6~10月の5か月平均気温が27.3℃(平年差+2.7℃)だった。

米国本土¹の3月、6月、10月の月平均気温は、それぞれの月として1895年以降で4番目、1番目、3番目に高かった(米国海洋大気庁)。

㉒ 米国南西部からメキシコ北西部の高温 (2~3、10~11 月)

米国南西部からメキシコ北西部では、2月から3月、10月から11月にかけて異常高温となった。メキシコ北西部のシウダーコンスティチュシオンでは2~3月の2か月平均気温が21.6℃(平年差+3.3℃)、米国のテキサス州エルパソでは10~11月の2か月平均気温が18.1℃(平年差+3.0℃)だった。

米国本土¹の11月の月平均気温及び月平均最高気温は、1895年以降で2番目に高く、月平均最低気温は最も高かった(米国海洋大気庁)。

㉓ ハイチ、米国南東部のハリケーン (10 月)

ハリケーン「MATTHEW」により、ハイチでは540人以上(国連人道問題調整事務所)、米国南東部では40人以上(米国政府)が死亡したと伝えられた。

㉔ メキシコ南部からコロンビアの高温 (1~8、10 月)

メキシコ南部からコロンビアでは、1月から8月、10月に異常高温となった。コロンビア北西部のペレイラでは、1~6月の6か月平均気温が23.4℃(平年差+1.5℃)、メキシコ南部のコミタンデドミンゲスでは7~8月の2か月平均気温が19.9℃(平年差+0.7℃)だった。コロンビアのボゴタでは10月の月平均気温が14.2℃(平年差+0.9℃)だった。

㉕ ブラジル東部の高温 (2~8 月)・少雨 (2~5 月)

ブラジル東部では、2月から8月にかけて異常高温、2月から5月にかけて異常少雨となった。ブラジル東部のバラドコルダでは2~8月の7か月平均気温が28.1℃(平年差+2.3℃)、東部のビトリアダコンキスタでは2~5月の4か月降水量が32mm(平年比9%)だった。

㉖ チリ中部及びその周辺の高温 (1~2、8~9、11 月)

チリ中部及びその周辺では、1月から2月、8月から9月、11月に異常高温となっ

¹ 米国50州のうちハワイ州、アラスカ州を除いた領域。

た。チリ中部のコンセプションでは1~2月の月平均気温が17.8℃(平年差+1.5℃)、アルゼンチン中部のメンドーサ空港では8月の月平均気温が13.3℃(平年差+2.7℃)、チリ中部のサンティアゴでは9月の月平均気温が13.1℃(平年差+2.0℃)、チリ中部のラセレナでは11月の月平均気温が15.6℃(平年差+1.3℃)だった。

㉗ ミクロネシアの高温 (3~4、6、8月)

ミクロネシアでは、3月から4月、6月、8月に異常高温となった。ミクロネシア連邦のヤップ島では3~4月の2か月平均気温が29.4℃(平年差+1.8℃)、6月の月平均気温が29.6℃(平年差+2.1℃)、8月の月平均気温が28.6℃(平年差+1.3℃)だった。

㉘ オーストラリア北部から南東部の高温 (3~7、9、11月)

オーストラリア北部から南東部では、3月から7月、9月、11月に異常高温となった。オーストラリア北部のダーウィンでは3~6月の4か月平均気温が29.3℃(平年差+2.2℃)、南東部のシドニーでは3~7月の5か月平均気温が18.3℃(平年差+1.8℃)、北東部のウェイパでは9月の月平均気温が28.8℃(平年差+2.5℃)、北西部のブルームでは11月の月平均気温が31.2℃(平年差+2.0℃)だった。

オーストラリアの3月から5月の3か月平均気温は、1910年以降で最も高かった(オーストラリア気象局)。

㉙ オーストラリア南東部の多雨 (1、6、9月)

オーストラリア南東部では、1月、6月、9月に異常多雨となった。オーストラリア南東部のウィルソンズ・プロモントリーでは1月の月降水量が199mm(平年比346%)、キャンベラでは6月の月降水量が144mm(平年比333%)、南東部のメルボルンでは9月の月降水量が95mm(平年比280%)だった。

オーストラリアの6月、9月の月降水量は、それぞれの月として1900年以降で2番目に多かった(オーストラリア気象局)。

㉚ ニュージーランド及びその周辺の高温 (2、5、9月)

ニュージーランド及びその周辺では、2月、5月、9月に異常高温となった。ニュージーランド南部のインバーカーギル空港では、2月の月平均気温が15.9℃(平年差+2.2℃)、同国北東部のギズボーンでは5月の月平均気温が15.2℃(平年差+2.8℃)、オーストラリア東部のノーフォーク島では9月の月平均気温が17.7℃(平年差+1.1℃)だった。

ニュージーランドの2月、5月の月平均気温は、それぞれの月として1909年以降で2番目、1番目に高かった(ニュージーランド気象局)。

◇ 世界の天候や異常気象に関する最新の情報は、気象庁ホームページで毎週更新しています。

【世界の天候】 <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/index.html>

【世界の異常気象】 http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme_world/index.html